

平成28年度 基礎物理学専攻修士論文発表会プログラム

2017年2月13日(月)・2月14日(火)

※発表会出席者は、発表内容について守秘義務があります。

実験系 2月13日(月) 本館2階284物理輪講室			
時間	発表者	指導教員	論文題目
11:00-11:30	藤原 太智	河合誠之	明野MITSuME望遠鏡によるガンマ線バースト早期可視残光の観測(2008-2016)
11:30-12:00	今井 駿佑	堂谷 忠靖	軟X線広天域監視装置iWF-MAXI用X線CCD検出器の開発
昼休み 1時間			
13:00-13:30	国定 恭史	柴田 利明	SeaQuest実験における陽子内の反クォークのフレーバー非対称度 $d\bar{u}$ の解析手法の検討
13:30-14:00	玉虫 傑	柴田 利明	Measurements of Azimuthal Angular Distribution of Drell-Yan Process at SeaQuest (SeaQuest実験におけるドレル・ヤン反応の方位角分布の測定)
14:00-14:30	五十嵐 浩二	柴田 利明	偏極陽子衝突の前方中性子測定用カロリメータRHICfのシミュレーションによる性能評価
休憩 15分			
14:45-15:15	佐藤 真一	陣内 修	ATLAS実験におけるQCDジェット起源粒子識別法の開発
15:15-15:45	澤井 宏美	陣内 修	HL-LHC ATLAS実験に向けた複数の読み出しチップを搭載した実機型ピクセル検出器の性能評価
15:45-16:20	吉田 朋世	久世正弘	Geant4 シミュレーションを用いた水チェレンコフ検出器の性能評価と最適化
休憩 15分			
16:35-17:05	清水 皓平	久世正弘	LHC-ATLAS実験における希崩壊事象を用いたDs生成断面積の測定
17:05-17:35	尾崎 友志	中村隆司	三中性子非束縛系 ^{27}O の核分光
17:35-18:10	齊藤 敦美	中村隆司	ダイニュートロン相関探索に向けた高分解能中性子検出器HIMEの開発

実験系 2月14日(火) 本館2階284物理輪講室			
時間	発表者	指導教員	論文題目
10:00-10:30	片岡 優	宗宮健太郎	非線型光学効果を用いた次世代重力波検出器の要素技術開発
10:30-11:00	熱田 将	宗宮健太郎	ブラックホールリングダウンからの重力波における高調波を含めた解析
11:00-11:30	井関 建二	實吉敬二	パリレン絶縁膜を用いた大面積積層型静電アクチュエータの開発
11:30-12:00	中田 壮星	實吉敬二	ヒンジ部に皿ばね構造を用いた積層型静電アクチュエータの開発
昼休み 60分			
13:00-13:30	甲斐 晋二	堂谷 忠靖	空間的反同時計数によるX線CCDカメラの低バックグラウンド化
13:30-14:00	矢野 佑樹	河合誠之	すざく衛星による超新星残骸MSH 15-56 の分光学的研究
14:00-14:30	小野 雄貴	河合誠之	X-ray emission of the Be star/pulsar system PSR B1259-63 at non-periastron phases (Be星パルサー連星系 PSR B1259-63の非近星点付近におけるX線放射)

理論系 2月14日(火) 本館1階156物理輪講室			
時間	発表者	指導教員	論文題目
13:00-13:30	入江 陽也	岡 眞	チャームペンタクォークの構成子クォーク模型を用いた解析
13:30-14:05	寺内 晴輝	山口 昌英	インフレーションのエネルギースケールの探索

*各自の時間は 20分(日本語発表)+10分(質疑応答)= 30分 です。

*博士進学者の時間は 20分(日本語発表)+5分(英語発表)+10分(質疑応答)= 35分 です。